

**欧州委員会・パレスチナ自治政府共催
第 1 回パレスチナ・ドナー・グループ閣僚級会合
(1 1 月 2 0 日 (木) 16:00-18:30)**

冒頭発言

シュイツァ欧州委員会地中海担当委員、
ムスタファ・パレスチナ首相、
ご列席の皆様、

日本政府を代表して、本日の会合に出席できることを
光栄に思います。この機会に、欧州委員会とパレスチナ
自治政府（P A）に感謝の意を表明したいと思います。

ガザ地区及び西岸地区の情勢

ガザでの停戦合意を受け、人々の苦しみを迅速に軽減
し、住民の平穏な生活を取り戻し、ガザを再建するた
めに、国際社会に団結が求められています。

この関係で、日本は、ガザ再建に向け国際社会を団結
させる国連安全保障理事会決議第 2803 号を歓迎します。

我が国は、人道支援、早期復旧・復興、暫定統治メカ
ニズムへの関与を通じ、この決議の履行に尽力してい
きます。

我々は人的貢献についても取り組んでいきます。日本
政府は、元ラマッラ事務所所長である大久保武氏を新
たにガザ再建支援担当大使に任命しました。大久保大
使は本日、パレスチナ・ドナー・グループの高級実務
者会合に出席し、続けて域内各国を訪問する予定で
す。

我々は、悪化する西岸地区の治安状況について十分
認識しており、パレスチナ自治政府（P A）が直面する

財政についても深刻に懸念しています。我が国は、「パレスチナの財政持続性のための緊急連合」の他のメンバー国とともに、イスラエルに対し、あらゆる一方的行為の停止と全ての税還付金の即時支払いを強く求めています。

我が国のパレスチナ支援

我が国は、支援のみならず、パレスチナの経済的自立にも重点を置いています。その顕著な例が、「平和と繁栄の回廊」構想の旗艦事業「ジェリコ農産加工団地（ジャイプ）」です。この日本が主導するプロジェクトも、治安情勢の悪化受け一時は存続が危ぶまれる状況でしたが、大きな困難を克服し、今再び拡大のフェーズに入ろうとしています。これは、極めて困難な状況が続いているにもかかわらず、自らの将来を主導することを決して諦めないパレスチナの人々の揺るぎない意思の賜物です。

また、日本はアジアにおける連携も主導しています。本年7月、クアラルンプールで第4回CEAPAD閣僚級会合が開催されました。そして、先週、オンライン会合を開催し、ガザの復旧・復興に向けた強いコミットメントを再確認しました。

結び

この機会に、パレスチナが持続可能な形で存在し、イスラエルと共存することを可能にする「二国家解決」への決意とコミットメントを再確認したいと思います。

ありがとうございました。